

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神医学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	802
担 当 教 員	大野 力				
実務経験とその関連資格	作業療法士として精神科病院へ勤務。統合失調症などの精神障害領域の作業療法に5年間従事。 臨床実習指導者研修修了認定 MTDLP基礎研修修了 作業療法学修士学位取得 認定作業療法士資格取得 作業療法学会論文査読委員				

《授業科目における学習内容》

GIO:精神疾患について基本的な理解を習得する。

SBO:①精神機能の正常と異常について述べられる。②精神機能と各疾患についてのつながりを述べられる。

《成績評価の方法と基準》

小テスト 30%

定期試験 70%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 増補版

《授業外における学習方法》

ボランティアなどに取り組み、実際に障害をお持ちの方と交流する機会を持ってください。

《履修に当たっての留意点》

目に見えない、見る機会の少ない疾患ですので、講義の予習と復習をお願いします。精神医学については、症候学(第3章)を理解できると、疾患学だけでなく作業療法や国家試験に活かせられます。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	精神医学の歴史を知る。精神障害の成因が説明できる。	教科書	第1章と第2章を予習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	精神医学とは 精神障害の成因と分類		
第2回	授業を通じての到達目標	精神症候について説明できる。	教科書	第3章を予習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	精神機能の障害と精神症状①		
第3回	授業を通じての到達目標	精神症候について説明できる。	教科書	第3章を予習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	精神機能の障害と精神症状②		
第4回	授業を通じての到達目標	精神症候について説明できる。	教科書	第3章、第4章を予習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	精神機能の障害と精神症状③		
第5回	授業を通じての到達目標	精神症候について説明できる。精神科系の検査を挙げられる。	教科書	第3章を予習しておいてください。
	各コマにおける授業予定	精神機能の障害と精神症状④、精神医学における各種検査		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	精神作用物質について説明できる。		第1章～第4章の復習、精神作用物質の予習してください。
	各コマにおける授業予定	小テスト、依存症		
第7回	授業を通じての到達目標	てんかんについて説明できる。		てんかんの予習してください。
	各コマにおける授業予定	てんかん、疾患理解度確認テスト		
第8回	授業を通じての到達目標	気分障害について説明できる。		気分障害の予習してください
	各コマにおける授業予定	気分障害、疾患理解度確認テスト		
第9回	授業を通じての到達目標	神経症性障害について説明できる。		神経症性障害の予習してください
	各コマにおける授業予定	神経症性障害、疾患理解度確認テスト		
第10回	授業を通じての到達目標	生理的障害について説明できる。		生理的障害の予習してください
	各コマにおける授業予定	生理的障害、疾患理解度確認テスト		
第11回	授業を通じての到達目標	成人のパーソナリティほかについて全般的な説明できる。		人格障害の予習してください
	各コマにおける授業予定	成人のパーソナリティほか、疾患理解度確認テスト		
第12回	授業を通じての到達目標	統合失調症について説明できる。		統合失調症の予習・復習してください
	各コマにおける授業予定	統合失調症①、疾患理解度確認テスト		
第13回	授業を通じての到達目標	統合失調症について説明できる。		統合失調症の予習してください
	各コマにおける授業予定	統合失調症②		
第14回	授業を通じての到達目標	精神科保健医療と福祉について説明できる。		精神発達遅滞の予習してください
	各コマにおける授業予定	精神科保健医療と福祉、疾患理解度確認テスト		
第15回	授業を通じての到達目標	総復習		各疾患の復習をしてください
	各コマにおける授業予定	各疾患の振り返り		